

飯網町広報紙

# いいづな通信

IIZUNAPUBLICRELATIONSMAGAZINE



6月3日(土)、町内3小学校で運動会が行われました。各校とも児童とその家族、地域の皆さんが大勢参加し、会場は盛り上がっていました。  
【写真：三水第二小学校】



7

2017 第140号

特集

## 鼎談

### 峯村勝盛×小澤勇人×馬島敦子



小澤 勇人(東京都出身 西黒川区在住 32歳)



峯村 勝盛(平出区 67歳)

# 特集 鼎談 峯村勝盛 × 小澤勇人 × 馬島敦子



馬島 敦子(赤東区 60歳)

平成27年7月、地方創生人材派遣制度により総務省から派遣され、飯綱町の活性化のためにご尽力いただいた小澤副町長。2年間の活動や町への思いを語っていただきました。

## 地方創生の2年間

■馬島…2年間で振り返って飯綱町の生活はどうでしたか。

■小澤…あつという間の2年間でしたが、振り返ればかなり濃密な日々だった気がします。町の総合戦略の策定など、短期間に様々な方々とお会いし、様々な事業を行ってききましたから。

■峯村…総合戦略を3か月くらいで作ってしまうのだから、仕事のスピード感がすごいと思った。

■小澤…いろいろなことをしてきたとは思いますが、結局、町民の方が動いてくださったからこそできたのであって、自分はそのきっかけづくりをしたに過ぎないと思っています。馬島教育長がリーダーを務めた赤東未来創造プロジェクトも、赤東区の皆さんのやりたいことや熱意を後押ししただけだと思っています。

ヤギ駅長、直売所の拡張、ワーク

センターの開設、りんごのブランド、どれもやりたいと思う人・グループのパワーがあつて実現したと思います。

飯綱町の人たちは「挑戦する気持ち」を持っていて、と感じた2年間でした。

■馬島…ワークセンターは、いろいろアイデアを凝らして工夫していただいたおかげで、当初予定していたよりも利用者が多いと聞いています。

■小澤…働きたい子育て中の母親の方と町内企業を中心に、仕事のマッチングイベントをしました。おひとりおひとり状況が違うので、企業側の求めに合うか実際に話し合う機会を設けたのですが、結果的に雇用につながったのはよかったです。

■馬島…4月から教育行政にかかわるようになり感じることは、飯綱町は確かに小さい町で、高齢化・人口減少という問題を抱えているかもしれないけれど、小さい町だからこそ町民の顔の見える行政ができる、ということなのです。

小澤副町長さんも何回も地域に出かけて行って懇談されていましたが、地域の話がすぐ行政に届くというところが、飯綱町のような小さい町のいいところだと感じます。

■小澤…人口規模を考えると、飯綱町のような1万人規模の町というのは理想的なのかもしれないですね。

自治体の規模が大きくなりすぎてしまうと、何かしようと思つたときに身動きがとりにくくなってしまいますからね。

退任前に全ての地区の方から話を聞こうと、町内各地を回ってきました。地域の方々から伺つた話を施策に取り込んでいく場合も、飯綱町のような規模であれば、行政としても意思決定が迅速にできると思います。地理的に見て、飯綱町は「ふるさと・田舎」の里山風景がありながら、県北部の中心市である長野市にも近いということ、都会の人にとつても過ごしやすい環境だと思えます。

### 飯綱町の将来と集落 (コミュニティ)のあり方

■小澤…将来のことを考えると、少子高齢化ということで、町の人口の推移の試算では20〜30年後に7千人〜8千人程度に減るであろうと予想されています。また、特に福井団地などで急速に高齢化が進むことが

予想されています。集落単位で見ると、現在50集落ありますが、人口が減るとその維持も難しくなるかもしれないですね。

各地区の方が特に強く言われていることが、地区の役が非常に負担であるということです。特に若い人にとっては地域活動にかかわることが重荷であるということで、「そんなことをするくらいなら町から出ていきます」と、本当に出て行ってしまふこともあると聞きました。

■馬島…なぜ人が地方を離れ都会に集まるのかを考えたときに、一般的には「地方に働く場所がない」ということが最も大きな理由だと考えます。ですが、実はそういう「地域のしがらみ」に抵抗があるという理由で、地元を離れて暮らしている人も多くいると思います。

■小澤…「働く場所がない」という話は、長野市に目を向ければ仕事は結構あると思つていますので、正確には「自分の望む仕事がない」ということだと思つています。仕事の内容を選ばなければ、仕事は町にもたくさんありますが、都会と比較したら、少なくなつてしまふと思います。

■峯村…地方が、東京並みに仕事の

種類を増やすということは無理なこと、別の方向で対策を考えていくことが必要だと思つて。

長野市内で働くときに、飯綱町に住んでいけば、通勤に15〜20分余計に時間がかかるかもしれないが、朝は都会の喧騒とは無縁な静かな環境で目覚め、遠くの山並みを眺めながら鳥の声を聞き、季節の移り変わりに伴って自宅の近くで採れた旬の野菜や山菜が食卓に並ぶ、こんなぜいたくな暮らしは都会ではできないと思つて。





なっていたりします。もちろん失敗もあります。その失敗も若い世代にとっては貴重な経験になるわけです。経験を通じて若い世代が育つ、それぞれの世代が程よい距離感を保って良い関係性を築ける、すると地域が活性化するという循環が生まれていると感じます。

役員側の反省点としては、集落に色々なお願いをする際に、複数の部署から似たような依頼をすることがあり、もう少し内部で連携してほしいというお話をいただいたことがあります。やみくもに集落にお願いするのではなく、役員内部で依頼内容を整理する体制が必要と思いました。

■小澤…いくつもの集落を訪ねた中で、活気のある地区の共通項を探すと、地域の大部分のことを若い世代に任せているところが、活気があるように思います。年長者が事細かに指示するのではなく、自由にやらせている。そういう地区は活気が出るのだと思います。

年長の方に話を聞くと、やはり自分の経験と照らし合わせて歯がゆいこともあって、若い人のやっていることについて口を出したくなるけれど、そこを我慢して自由にやらせてみる。すると、若い世代の新しい発想や価値観が地域を活性化させる要素に

する抵抗感だと思っています。

■峯村…コミュニティのあり方も旧態依然のままではいけないだろうね。世代が違えばもちろん物事に対する感覚・とらえ方が違うし世の中の価値観はますます多様化してきている。我々上の世代が、自分たちが大変でもやってきたのだから、若い世代も当然同じように参加しろというのではなく、参加しやすい状況というものを、調べていかなければいけないと思うね。

■馬島…少子高齢化で若者が特に減っている中で、昔だったら消防や公民館など大勢で分担していた役割を、今の若い人は1人で何役もこなさなければいけなくなっています。個人の負担が大きくなりすぎているのではないのでしょうか。若い人が地元に残っている男性は中々結婚できないこともある。一般には長野市内へ勤める人間が多いと思うが、通勤に30分かかるとか、雪が積もるとかそんな問題になるのか、いったい根本的な問題はどこにあるのだろうか。

■馬島…やっぱりコミュニティだと思っています。時間的なことや生活の便がいいかどうかということよりも、地域の役が回ってくることなどに

とも多いと思います。やらされている感じが強いとか、嫌がっているのに無理矢理やらせるというスタイルではなく、自分がその地域で必要とされているという誇りとか、自分が重要な役割の一端を担っていると感ぜられる仕掛けがあると、地域に残ってくれる可能性が高まるのではないのでしょうか。

■峯村…「地域のきずな」は特に災害など非常時にとっても重要になるのだから、日常の中で地域に参加することが義務だと強制することで、そのきずながきゅうくつに感じるものになってはいけないと思う。

■小澤…地域の全員が義務的な役割ではなく、より良い地域を皆で作っていくという連帯感のある役割を持つことがいいのかもしれない。

### 集落を維持するために

■小澤…集落同士の合併について、当初はどうしてしないのかなと思っていました。話聞いてみると、その時点で条件の有利な集落からすると、合併することで結果として現在よりも負担が増えてしまうから合併できない、したくないという部分



があるとなりました。

私は、地方分権で現場に近いところに権限があればうまく事が進むと思っただけでもあったのですが、最も身近な集落同士でも、個別の事情が違ふと問題の解決に至らなくて、全体を調整して個々の事情に沿うようにする存在が必要だと思いました。

今回の地方創生は、その事業内容がかなり市町村に任されているのですが、広域的に何かをしようと思っただけで、市町村同士が連携するだけでは中々うまくいかなくて、やはり県

なり1段上の存在が権限を統括して、個々の事情に沿うようにうまく仲介することが重要だと、具体的に感じることができたのは、自分にとって勉強になったと思いました。

■**峯村**…県の職員のみなさんも、20年前ならば市町村の財政状況を見て、このままの政策で進んでいいのか、踏み込んだ意見や指導をしてくれる人が多かったように思うが、10年くらい前から、相談は受けてくれても市町村が考えることに干渉しないというスタイルになってきている気がする。近隣の病院や水道など、今後のことを考えたら広域で取り組んだほうが良いと思われるものがあったも、「それはそれぞれの自治体で考えればいいことでしょう」というスタンスをとっているようにみえる。

■**小澤**…水道水源は市町村によって有利な地域・不利な地域がありますから、市町村同士が話し合っても話が進まないですよ。

■**峯村**…そこで県が仲介の労とか、思い切って背中を押すなり、割って入って仲裁するなりといった姿勢が必要だと思う。

■**小澤**…地方分権が国や県の責任逃れの問題を生んでしまった部分

あったのではないかと感じました。だからと言って中央に権限が集中することは、腐敗や癒着といった問題を生むので難しいです。

ただ、人口減少が進んで市町村が困っている、集落単位で困っているという場合に、当事者だけでは合併するなどといった大きな解決策に踏み出せない以上、1段上の存在が積極的に仲介することも必要なことだと思います。

■**馬島**…飯綱町でも、地区の組織や集落同士の問題などを解決しようとするときに、行政は町全体を俯瞰できる立場だから、決めつけることはいけないけれど、積極的に提案していくことは必要だと思います。

■**小澤**…若い人の力を引き出すことができるかが重要だと思います。時代の変化が激しいときに、その流れに左右されずにずっと価値のあるものももちろんあって、それを守っていくことは、それこそ年長者の方に力を発揮していただいて、変化していったら部分部分は若い人に任せてみるという懐の深さが、集落でも町の経営でも求められると思います。

■**馬島**…どんな社会でも、人間でも動物でも、新しいことを始めるのは

若い個体ですから、そういう土壌作りは大切だと思います。

■**小澤**…人口比率的に若い人の割合が低くなっていますから、なおさら若い方に任せるといことが難しい時代になりつつあります。上の世代の方が多くなれば、当然その声も強くなりますから。しかし、若い世代に活気がないと、その社会は先細りしていくだけではないかと思いません。

■**馬島**…飯綱町の中でも、少子高齢化が加速度的に進んでいる地区は、昔は同じ学年の子どもが10人いても、今では小学生が全学年合計でその半分しかいません。10年後、20年後、この子どもたちが大人になったときに、誰がそのコミュニティを支えていくのかと考えると非常に深刻です。そうになると、若い人に任せようにも人がいないのだから、老若男女の区別なく皆で力を合わせて、なおかつ元気になれるような活動を模索しなければいけなくなります。

■**小澤**…特に一つの集落だけでは対処できなくなる課題については、集落同士で協力し合う体制を構築することが大切だと思います。

■**馬島**…一方で地域に深く根差した

課題は、よその地域と一緒に実施することは難しいものだと思います。行政がイニシアティブを取って効率とか負担軽減を理由に連携を主導できる分野もあれば、お祭りのような地域に根差したものは、その地域からの声が上がってくるのを待つしかない分野もあると思います。

### ふるさとに誇りを持って

■**峯村**…今の世の中、5年後や10年後がどうなっているのかという予測が、非常に難しい時代になっているから、「住民と行政の共動(※)のまちづくり」というと、通り文句としてはとてもいいけれど、再度、住民がやるべき事業、行政が担うべき事業を住み分けする必要があると思う。

■**小澤**…行政が果たせる範囲にはどうしても限界がありますし、また、例えばお祭りのように、行政が口を出すことが適切でないものもあると思います。

■**峯村**…生きるためのベースとなる部分、インフラの関係や医療・福祉・教育など最低限度のものは、何としても行政が堅持するということが大前提で、その上で、地域で何を頑張っ

てもらおうかということだと思ふ。

■**馬島**…町には保育園、小学校、中学校、高校がそろっています。この人口規模の町としては珍しいと思いますが、10年後の予測が難しいからこそ、今あるこういう貴重な財産を守っていきけるだけの町を維持していく、そのためにはどうすることが必要かを考えて目標を立てたり、政策を考える必要があるのではないのでしょうか。

■**小澤**…理想は一人ひとりの希望が叶う、もっとシンプルに言えば、みんなが楽しく暮らしていけるということに尽きると思います。

■**峯村**…どこに住んでも、どんな職業についてもいいというのは、誰もが保証されている基本的な権利の一つ。飯綱町で生まれて、一生懸命勉強した若者が、大都市や海外でやりがいのある仕事について活躍するのは素晴らしいことだと思ふ。そのときは素晴らしいことだと思ふ。そのときに、生まれた地域に縛られるという意味ではなくて、それでも故郷の飯綱町とのつながりを持ち続けられる、本人も持ち続けていたいと思ふような仕掛けをしていきたいね。

■**馬島**…それぞれ飯綱型教育を確立し、推進していくことだと思ふ。

「どこに行っても飯綱町に自分の根っこがあると思える」とか、「何か障害に当たったときも町の風景を思い出すと勇気もらえる」、それが本当の「ふるさと」のあるべき姿だと思います。大志を抱いて旅立つ者に対しては、応援して背中を押してやる、でも異郷の地で疲れて途方に暮れたときにいつでも帰って来いと迎える、そんな思いが育まれるようなまちづくりをしていく。

■**峯村**…自分の中に故郷の存在感常にあるというか、いつも町の状況を気にかけてたり、どこにいてもお祭りの時期には帰ってくるのか、「飯綱町の人間だ」という誇りを持ち続けてもらいたい。

### 2年間の結びつき…

■**馬島**…2年前、総務省からお役人が来ると聞いた時はどんな人が来るのかと思つたのですが、小澤さんは地域に積極的に出かけて行って、自分から溶け込んでくれました。町の大勢の人が、小澤さんと知り合つて刺激をもらえて感謝していると思ふ。ありがとうございます。

■**小澤**…2年間という短い間でした

が、多くの町民の皆さんに親しくしていただいで、楽しく過ごすことができました。りんご、お米、野菜、いろんな場でごちそうしていただき、どれも大変おいしかったです。四季折々の景色も素晴らしいと思ふました。

7月から東京に戻るわけですが、飯綱町の若い方が、その持てる力を十二分に発揮してほしいと期待しています。若い方が力を出して、それを年配の方が見守ってくれるような町になってほしいと思ふます。

これからも定期的に飯綱町を訪れたいと思つています。飯綱町がどういう姿になっていくのか、楽しみにしています。ありがとうございます。



6月15日、アップルミュージアムにて収録

※共動…飯綱町の造語で、本来は「協働」と表記しますが、まちづくりは労働ではなく、「共に動く」という意味から、この用語を用いています。

2017 いいづなまち

みんなで防災を  
考えよう!

きく まなぶ  
たいけんする

# 防災 イベント



飯綱町PRキャラクター  
「みつどん」

## 開催のお知らせ

とき **7月22日 (土)** 正午から午後4時まで

場所 **飯綱町民会館 ホール及び駐車場**

※当日の駐車場は、牟礼B & G海洋センター駐車場をご利用ください。

**講演会** 午後1時30分から午後3時30分まで  
「地域防災力の向上を目指して」  
～家族とまちを守るために～

講師 危機管理教育研究所  
くにざき のぶえ  
国崎 信江 氏



きく

### 防災パネル展

過去に発生した災害等の  
写真を展示します。



まなぶ

### 防災グッズ展示会

いざというときに役立つ  
防災グッズを展示します。



### 煙 体 験

火災時における煙の怖さと  
避難方法などを体験できます。

たいけんする

### 消火器体験

訓練用消火器で消火の  
体験ができます。



### 非常食試食会

町で備蓄している非常食を  
試食いただきます。

### 消防車・救急車展示会

長野市消防局の消防車、  
救急車を展示します。



主催／飯綱町

協力／長野市消防局・飯綱町赤十字奉仕団ほか

問い合わせ 総務課総務係 Tel 253-2511

# 飯綱今昔物語



いづなこんじゃくものがたり

## さんぎいん 小林次郎 参議院と小林次郎 ③公けへの志し

監修：今津敏晃（亜細亜大学准教授） 原作：小山丈夫 絵と構成：こばやしひろみち



小林次郎の父頼利は高潔な教育者で次郎が九歳のとき通学する高岡尋常小学校（のちの牟礼西小学校）校長に就任した

みなさん世の中の役にたてる人になるよう勉強に励みましよう

たかおかしんじょうしょうがっこうちよう  
高岡尋常小学校長  
こばやし りんとし  
小林 頼利（\*1）

世のため人のために働く人々が身近にいた環境で育った次郎は、公けの仕事につく夢を抱きました。



一年先輩には青木一男（のち大蔵大臣）一年後輩に栗林忠道（のち陸軍大将）そして同級生に隣村中郷村の仲俣謹一郎がいた

次郎は「村役場の子」で「校長先生の子」でもあった

成績優秀な次郎は長野県随一の進学校長野中学校（いまの長野県長野高等学校）に進学

\* 1 小林頼利（1865～1947年）高岡小学校長在職は20年の長期にわたった。  
 \* 2 仲俣謹一郎（1890～1962年）現在の飯綱町黒川出身。のち牟礼栄町に仲俣医院を開業。  
 \* 3 仲俣理亮（1861～1921年）。思想家高井鴻山（小布施町）の門人で、三水村や中郷村（いずれも飯綱町の前身）の発足、運営に携わった。



僕は死んだ姉の遺言を守って医者になり、村の人の役に立ちたいと思っているんだ。君はどつたい？ (\*4)



仲侯君の父上の理亮翁 (\*3) は立派な人なんだね。僕の父も尊敬しているよ。君は将来何になりたいんだい？

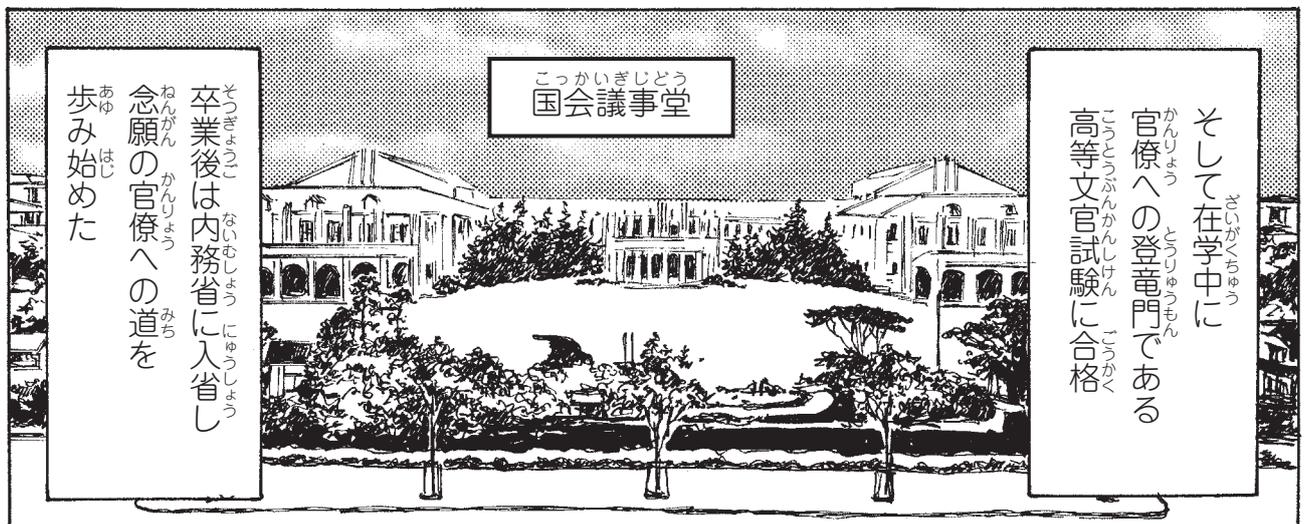
なかまた きんいちろう  
仲侯 謹一郎



明治四十三年(一九一〇年)次郎は長野中学を卒業後、第七高等学校英法科(鹿児島市)を経て(\*5)東京帝国大学法学部に進学。高岡村はじまって以来初めての東京帝国大学合格者として評判になった。



僕は国の官僚になって、全国みんなの役に立ちたいと思っているんだ。



こっかいぎじどう  
国会議事堂

卒業後は内務省に入省し、念願の官僚への道を歩み始めた。

そして在学中に、官僚への登竜門である高等文官試験に合格。

\* 4 姉りう(享年20歳)は病死の前日「謹一郎、医者となれ」と遺言したという(「長野北高新聞」第23号(1950年8月30日付))  
 \* 5 七高進学を勧めたのは上井栄雄戸隠神社宮司(父頼利の友人)だった。上井宮司は「鹿児島は明治維新の元勳を輩出した処…是非鹿児島へおやりなさい」と父頼利にいったという(小林次郎「思い出」『七高思出集後篇』1963年刊)

## 牟礼駅に感謝を込めて～虹の花壇～

6月1日



北部高校の生徒たちが、日頃通学で利用する牟礼駅に感謝の気持ちを込めて、花壇に花の苗を植えました。

生徒会役員を中心に例年行っている花壇整備。今年は虹をイメージし、色とりどりの花をアーチ状に植えていきました。

今後も生徒たちは水やりなど花の世話を続けますので、駅をご利用の際はぜひお立ち寄りください。

## 農業委員会についてご検討いただきました

5月22日



農業委員会の委員の定数や選任の手続等について町から諮問を受けていた、飯綱町農業委員会委員定数等検討委員会から、答申書が提出されました。

これを受けて、町では農業委員会の委員定数等を変更する議案を6月議会に提出、承認されています。詳細については、7月末に発行する「農業委員会だより農ネットいづな」で紹介します。

## 小学校運動会

6月3日



牟礼東小学校、三水第一小学校、三水第二小学校で運動会が開催されました。どの学校でも児童たちの元気いっぱい姿を見ることができました。

【写真上：三水第二小学校、下：三水第一小学校】

## 飯綱カード協同組合からご寄付いただきました

6月2日



飯綱カード協同組合から飯綱中学校に、図書購入費用として3万円が寄付されました。

組合が発行している「いづなカード」は、町内の加盟店で買い物をしてポイントをため、満点になると500円分の商品券として使うことができますが、このうち10円分がいづな教育助成金として活用されます。

今年4月に着任された小山 貴校長先生に寄付金を手渡した組合の小林さんは、これからも商工振興と同時に地域の子供たちのために使われるカードを目指していきたいと話してくれました。

## 今年もヤギ駅長がやってきた

6月4日



昨年に引き続き、牟礼駅にヤギ駅長のロールと助役のクロオがやってきました。今年初出勤となったこの日は、町内外から多くの方が訪れ、しなの鉄道(株)より提供いただいた景品の配布や、町のキッチンカーによる飲み物等のおもてなしを行いました。

■7月の出勤予定…2日、9日、16日、23日

※出勤時間は10:00～15:00。天候により予告なく中止する場合があります。当日の出勤についての問合せは、牟礼駅 TEL 253-2039までお願いします。

## 三水B&Gプールリニューアルオープン

6月4日



平成5年に開設した三水B&G海洋センターのプールの大規模修繕工事が完了し、リニューアルオープンの記念式典が行われました。

修繕工事費5360万円余のうち約半額をB&G財団より補助いただき、機械装置とともにプールサイドの改修や塗装を新しくしたことで、きれいなプールとなりました。

当日はシドニー五輪銀メダリストの中村真衣さんをお迎えし、見事な泳ぎを披露していただいたほか、式典には水泳教室も行われました。

## 「いづなシードルブランデー」誕生

6月16日



飯綱町のりんごの新たな可能性を探るため、町では地方創生関連事業の一環として、サンクゼールと新商品の研究・開発を行ってきました。今回、サンクゼールは従来の飯綱町産りんごを使った発泡酒「シードル」を原料に、新たに導入した蒸留器を用いて、ブランデーを初蒸留しました。

この「いづなシードルブランデー」は、今後数年間樽の中で熟成される予定ですが、町のりんごの消費拡大や付加価値が高まることが期待されます。

## アジサイプロジェクト

6月11日



飯綱東高原をアジサイの名所にしようと始まったこのプロジェクトも、今年で6年目となりました。今回は親子連れなど約120人のボランティアが集まり、芝広場の霊仙寺湖畔に8種類1000株のアジサイを植栽しました。

天候にも恵まれ、作業は予定時間を待たずに終了。今回のアジサイが大きく育ち、湖畔を彩る日が待ち遠しいですね。

## 忙しい毎日に、簡単料理で栄養補給

いきいきライフでは、飯綱町食生活改善推進協議会の活動や会員さんおすすめの料理をご紹介します。

農繁期で忙しい季節に、簡単に作れる料理です。家庭にある材料を使い、野菜をいっぱいとりましょう。

豚肉はたんぱく質の他に、エネルギーの代謝を助けるビタミンB<sup>1</sup>が豊富に含まれています。

スタミナをつけ、夏バテを防ぎましょう。

シリーズ

いきいき  
ライフ



vol.36 飯綱町食生活改善推進協議会  
「きいろのエプロンだより」

## きのこと豚丼

<材料> 4人分

米…………… 2合  
豚もも肉（薄切り）…160g  
A { しょうゆ… 大さじ1  
みりん… 大さじ1  
玉ねぎ… 200g（1個）  
エリンギ… 100g（2本）  
ししとう… 40g（8本）  
水…………… 50cc  
酒…………… 大さじ1  
刻みのり… 適量

<作り方>

- ①米は研いで炊飯器にしかける。
- ②豚肉は一口大に切り、Aをもみこむ。
- ③玉ねぎは薄切りにする。エリンギは長さを3等分にして縦に短冊切りにする。ししとうはさっと茹でる。
- ④フッ素加工のフライパンに②を入れ、汁気がなくなるまで火を通し、豚肉を取り出す。
- ⑤④のフライパンに③、水、酒を入れて蓋をし、透き通るまで煮込む。汁気がなくなったら④の豚肉を戻し、混ぜあわせて火を止める。
- ⑥どんぶりにご飯を盛り、⑤を盛り付け、ししとうを飾り、刻みのりを散らす。



## 新玉ねぎとツナのサラダ

<材料> 4人分

新玉ねぎ…………… 1.5個  
ツナ缶（水煮）… 1缶  
にんじん…………… 50g  
きゅうり…………… 1本  
塩…………… 小さじ1/4  
A { 砂糖… 小さじ1/4  
マヨネーズ… 大さじ4  
牛乳…………… 大さじ1

<作り方>

- ①にんじんはごく細いせん切りにする。きゅうりは薄い輪切りにして塩をふり、しんなりしたら水気を軽く絞る。
- ②新玉ねぎは縦半分に切り、縦に薄切りし、水にさらして水気を絞る。
- ③ツナ缶は汁ごとボウルに入れ、Aと混ぜる。
- ④③に①と②を加えて和える。



## 健康案内板

### ▽母子保健 (場所：健康管理センター)

#### ○乳児健診

日時：7月25日(火)

対象：9～10か月児 平成28年9月生 13:00～13:10受付  
6～7か月児 平成28年12月生 13:20～13:30受付  
3～4か月児 平成29年3月生 13:10～13:20受付

#### ○1歳6ヵ月児・3歳児健診

日時：7月5日(水)

対象：1歳6ヵ月児 平成27年11～12月生 13:45～14:00受付  
3歳児 平成26年3月生 13:00～13:15受付

#### ○おっぱい教室

##### ①授乳中コース

日時：7月26日(水) 13:15～15:15受付

対象：授乳中のお母さん。要予約(初回の方優先)で個別相談です。(1人30分程度)

##### ②卒乳コース(卒乳のお話し)

日時：7月26日(水) 15:45～16:45

対象：卒乳を希望されるお母さん。グループでの相談です。要予約。

### ▽各種検診のご案内

#### ○国保特定健診・町民健診を受診しましょう！

6月より健康診査を行っています。ご自分の体の健康チェックのため受診しましょう。お手元に受診券がない場合は、事前に健康管理センターにて交付を受けてください。

新たに受診を希望される方は、健康管理センターへお申し込みください。申し込まれた方には必要書類をお送りします。

#### 【集団健診】

日時：7月24日(月)日 会場：町民会館

対象者：・特定健診 40歳～74歳で飯綱町国保加入の方  
・町民健診 20歳～39歳の方

受診料：国保の方は1,000円。

町民健診対象者で国保以外の方は2,000円。

※オプション検査は別料金。

※以下のオプション検査も実施しています。健診日に受付で申し込んでください。(料金別、年齢制限あり)

・心電図、眼底検査、前立腺がん検査、肝炎ウイルス検査

#### 【個別健診】

対象者：・特定健診 40歳～74歳で飯綱町国保加入の方  
・町民健診 後期高齢者医療保険加入の方

実施期間：平成29年7月3日から平成30年2月末日まで

場所：町内の医療機関(医療機関へ事前予約が必要です。)

受診料：国保特定健診は1,000円。町民健診は無料。

持ち物：保険証、受診券、受診料

#### ○大腸がん検診

検診申込み期間は平成30年1月末まで。

ご希望の方は、健康管理センターへ電話でお申し込みください。検便容器・受診通知を発送します。

#### ○結核検診(胸部レントゲン検査)

年1回の受診をしましょう。

対象：65歳以上の方(昭和28年3月31日以前の生まれの方)

実施日：7月7日(金)、11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)

受診料：無料

先に申し込まれた方に検診票(水色の封書)が保健補導員より配布されました(6月23日頃)ので、ご確認ください。

※検診票に記載した日程以外でも受診できます。

広報6月号19ページもご覧ください。

※平成29年4月以降、医療機関ですでに胸部レントゲン撮影をされた方や胸部レントゲン撮影の機会がある方は、今回は結核検診を受診する必要はありません。その際は、7月14日までに健康管理センター又は検診会場のどちらかに検診票を返却してください。

### ▽精神保健

#### ○心の健康相談

日時：7月20日(木) 17:00～19:00

場所：健康管理センター

精神保健福祉士による個別相談です。

1人概ね1時間程度。

7月14日(金)までに健康管理センターへ予約してください。

#### ○自立支援医療(精神通院医療)

精神科への通院が必要な方への治療費の一部を公費で負担する制度です。健康管理センターへご相談ください。

### ▽その他

#### ○定期健康相談

日時：7月21日(金) 13:30～15:30

場所：健康管理センター(予約は不要です)

#### ○断酒会

日時：毎週水曜日 19:30～21:00

場所：飯綱福祉センター

### ▽健康管理センターのご案内

〒389-1211 飯綱町大字牟礼2220

業務時間：平日8:30～17:15(飯綱病院 東隣)

(直通)電話：026-253-6841 FAX：253-6840 有線6841

## 統合小学校の校歌の歌詞が決定しました!!

平成30年4月に開校する統合小学校の校歌の歌詞について、16作品の応募をいただきました。たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

応募いただいた作品を飯綱町小学校統合準備委員会において慎重審議した結果、その中から1作品を選定し、5月8日に教育委員会へ報告しました。

教育委員会は5月11日に臨時教育委員会を開催し、報告書を検討しました。結果は以下のとおりです。

○決定歌詞者 山田 敏彦 さん（飯綱町在住）

決定作品 町ホームページに掲載

○決定理由

- 1) 校歌の選定基準にある健やかな成長への願いや町の情景が歌いこまれている。
- 2) 全体に歌詞のバランスがよく、やわらかさがある。
- 3) 子どもたちの夢や希望が歌われている。
- 4) 歌いやすく、長さが適正である。

今後、作曲家の吉本隆行氏（長野市在住）に曲を付けていただき、本年10月ごろ校歌が完成する予定です。

▶問合せ 教育委員会 総務教育係 TEL253-4769

## 油等の取扱についてお願いします!

最近、子どもがポリタンクに入った軽油を誤って庭先で撒いてしまい、農業用水路に流れ込む事故が発生しました。

子どもは、重大な事故になるとは知らず、遊びの延長で油等を撒いてしまうことがあります。

この時期は農業用水路から水田への取水中でもあり、重大な事故に繋がりがかねません。取り扱いには十分ご注意ください。ますようお願いいたします。

▶問合せ 住民環境課 生活環境係 TEL253-4762

## サマージャンボ宝くじ、サマージャンボミニ、サマージャンボプチの発売について

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。「サマージャンボ宝くじ等通販ちらし」を窓口を設置しますのでご利用ください。長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。※役場では販売していません。

【サマージャンボ宝くじ】 1等 5億円×20本  
(発売総額600億円・20ユニットの場合)

【サマージャンボミニ】 1等 1億円×45本  
(発売総額270億円・9ユニットの場合)

【サマージャンボプチ】 1等 100万円×5,000本  
(発売総額150億円・5ユニットの場合)

▶発売期間 7月18日(火)から8月10日(木)まで

▶抽選日 8月20日(日)

▶問合せ 企画課 企画係 TEL253-2511

## お知らせ

### 飯綱町表彰

飯綱町倉井の株式会社恵光学様から多額のご寄附をいただいたことを受け、飯綱町表彰条例に基づき、表彰を執り行いました。町では教育事業振興のために有効に活用させていただきました。

#### ▶善行表彰

表彰者 株式会社恵光学 様

根拠 飯綱町表彰条例第4条に該当

### 自衛官募集相談員の委嘱について



芋川の篠原弘さんが、町長と自衛隊長野地方協力本部長との連名により、自衛官募集相談員に委嘱されました。

募集相談員は、自衛隊と地元との架け橋として、自衛官志望者への説明や相談に応じます。

任期は平成29年度から2年間です。

### ごみの「野焼き」の禁止について

ごみを野外で焼却する、いわゆる「野焼き」による煙や悪臭に関する苦情が役場に寄せられています。

ごみの「野焼き」は、生活環境に支障をきたすことから禁止されています。農業を営むための焼却は例外として認められていますが、その場合でも、家庭ごみ・農業資材等の焼却は禁止されています。野外焼却や不法投棄の原因者は、撤去を求められるとともに、廃棄物処理法違反で重い刑罰が科せられます。やむを得ない焼却の場合も、周辺地域の生活環境に十二分に配慮し、宅地周辺での焼却は慎んでください。

皆様のご協力をお願いします。

▶問い合わせ 住民環境課 生活環境係 TEL253-4762

### 7月31日(月)は納税日です

今月の町税及び各種料金の納期限は、口座振替ともに7月31日(月)です。口座振替をご利用の皆様は前日までに残高の確認をお願いします。

#### ▶7月の町税・各種料金は次のとおりです。

固定資産税 国民健康保険税 介護保険料  
後期高齢者医療保険料 保育料(時間外含)  
一時保育料 園バス使用料 住宅使用料

▶問合せ 各担当まで

### 学校で使用する教科書等を展示します

教科書展示会を開催しています。どなたでも自由にご覧いただけますので、お気軽にお出かけください。

▶**会場** 長野上水内教育会館(長野市中御所岡田町15-5)

▶**期間** 6月28日(水)～7月12日(水) 9:00～17:00

※土日及び水曜日の午後を除く(水曜日は12:00まで)

※上記の会場の他、県内17会場で開催しています。詳しくは長野県教育委員会のホームページをご覧ください。

▶**問合せ** 教育委員会 総務教育係 TEL253-4769

### 行政相談所開設のお知らせ

▶**日時** 7月11日(火)13:30～15:30

▶**場所** 飯綱福祉センター 3階大会議室

▶**問合せ** 総務課 総務係 TEL253-2511

### 弁護士による無料法律相談のお知らせ

▶**日時** 7月27日(木)13:30～15:30(1人20分以内)

▶**場所** 飯綱福祉センター3階会議室

▶**予約** 7月19日(水)8:30～(定員6名になり次第締切)

▶**問合せ・予約** 総務課 総務係 TEL253-2511

### 2017 図書館まつり

▶7月29日(土) 飯綱町民会館

10:00～10:40 「マジックショー」

町内在住マジシャン、長野マジッククラブ

10:45～12:00 「わらべうたあそび」

13:30～15:30

講演会 「日中の現代史とテレビ番組制作の現場について」

講師 株式会社テムジン 代表取締役 矢島良彰氏(地蔵久保出身)

▶**ブックリユース(古本市)**

7月29日(土)～8月6日(日) 飯綱町民会館

ご家庭で眠っている本がございましたら、7月24日(月)までに、下記のカウンターまでお持ちください。ただし、全集や辞典、汚れの激しい本等はご遠慮ください。

▶**お持込み場所**

・飯綱町民会館 9:00～22:00 (月曜日は17:00まで)

・飯綱中学校図書館 平日 16:30～20:00

休日 9:00～19:00

▶**お問合せ先**

飯綱町教育委員会 生涯学習係 TEL253-6560

### 平成29年度飯綱町成人式の開催について

▶**日時** 8月15日(火) 14:00～(受付13:30～)

▶**場所** 飯綱中学校 講堂

▶**内容** 式典・記念撮影

▶**対象者** 平成9年4月2日～平成10年4月1日に生まれた方

▶**問合せ** 飯綱町民会館 TEL026-253-6560

### 防災行政無線を用いた 緊急地震速報の伝達訓練のお知らせ

7月5日(水) 午前10時15分頃、各戸に設置している防災行政無線と、町内51か所に設置してある屋外の防災行政無線により、緊急地震速報の訓練放送を行います。

▶**問合せ** 総務課 総務係 TEL253-2511

### B型肝炎訴訟説明会

▶**日時** 8月5日(土) 13:30～

▶**場所** 須坂市シルキーホール 第2ホール  
(須坂駅前ビル シルキー 3階)

▶**内容** 集団予防接種が原因でB型肝炎ウイルスに感染した人には、裁判で一定の要件を充たせば国から給付金が支払われます。無料でのご参加が可能ですので、お気軽にお越しください。

▶**問合せ** B型肝炎訴訟長野弁護士事務所  
(和田清二法律事務所内) TEL234-7754

## 催 し

### 「平成29年度飯綱町民講座」の開催について

今年度も町と町議会の共催により、2名の先生をお招きし、町民の学びの場である「飯綱町民講座」を開催します。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

【講座1】

▶**講師** 岸井成格氏(毎日新聞社特別編集委員)

▶**演題** 「激動の時代と『言論・報道の自由』」

▶**日時** 8月12日(土) 14:00～16:00

▶**場所** 飯綱町民会館ホール

【講座2】

▶**講師** 小田切徳美氏(明治大学教授)

▶**演題** 「都市と農村の共生による、まちづくり」

▶**日時** 8月27日(日) 14:00～16:00

▶**場所** 飯綱町民会館ホール

※要望がある場合のみ、託児及び交通手段(シャトルバス)の手配を行います。希望される方は、開催日2週間前までに下記問合せ先までご連絡ください。

▶**問合せ** 企画課 企画係 TEL253-2511

### 平成29年度 第2回飯綱病院糖尿病教室

参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

▶**日時** 7月5日(水)13:30～14:30

▶**会場** 飯綱病院1階 エレベーター前休憩コーナー

▶**内容** 「目のはなし」 看護師  
「運動のすすめ」 理学療法士

▶**会費** 無料

▶**問合せ** 飯綱病院外来 TEL253-2248(14:00～17:00)

## アップルミュージアムからのお知らせ

### 画家と建築家のコラボ展

画家・中川宇妻 — 生成の神秘 連作 —

建築家・丸山森一郎 — 曲線から直線へ —

画家中川宇妻氏と飯綱町在住の建築家丸山森一郎氏は、四半世紀前に東京大学生産技術研究所藤森照信氏（建築史家・建築家）の研究室で出会う。時は流れ2015年、飯綱町に住む丸山氏を訪ねた中川氏は、山々の風景が美しい飯綱町を気に入り、この地で絵を描いた。2人の久し振りの再会が展覧会開催のきっかけに。

画家の神秘的な抽象画と、建築家の建築模型・図面・写真等の40点余を展示。



(丸山森一郎氏設計建築)

- ▶ 期間 6月28日(水)～7月17日(月・祝)
- ▶ 時間 9:00～16:30 ※入場無料
- ▶ 場所 いいづなアップルミュージアム 企画展示室  
飯綱町倉井5 Tel.253-1071
- ▶ 休館日 月曜日、祝日の翌日 7月17日は開館
- 7月2日(日) 14:00～16:00展示作品解説(丸山森一郎氏)

### アルパ(ハープ)コンサート

- ▶ 開催日時 7月22日(土) 13:30～

飯綱町出身の田村理恵さんのコンサート。アルパ奏者倉沢信子氏に師事。動物園勤務の一方で演奏活動も幅広く行う。アルパとはスペイン語で「ハープ」という意味で、小型のハープで、南米のメキシコ・ウルグアイ・ベネズエラ・ペルー等の楽器です。

#### ▶ 予定曲目

- ・ジェガータ  
(パラグアイの曲)
- ・彼方より君を想う
- ・浜辺の歌  
(日本の童謡)
- ・ホールニューワールド  
(映画アラジンより)

他



### 7月のおはなし会

- ▶ 日時 7月8日(土)、22日(土) 10:00～11:00
- ▶ 場所 飯綱町民会館 元気の館
- ▶ 問合せ 公民館 Tel.253-6560

## 歴史ふれあい館からのお知らせ

### 特別展「参議院初代事務総長

#### —小林次郎とその生涯」開催

参議院開設70年を記念して、飯綱町出身で参議院の開設運営を主導した小林次郎氏を紹介する特別展を開催します。

- ▶ 会期 7月29日(土)～9月24日(日)
- ▶ 会場 いいづな歴史ふれあい館2階展示室

### 館臨時休館のお知らせ

特別展準備のため、下記のとおり臨時休館となります。

- ▶ 臨時休館日 7月25日(火)～7月28日(金)

### いいづな講座見学会「飯綱町の“みほとけ”

#### —見仏(けんぶつ)実践編」参加者募集

町内の「仏像」をめぐる見学会です。仏像の特徴や見分け方を実際に拝見しながら学びましょう。

- ▶ 日時 7月23日(日) 13:00～17:00
- ▶ 行程 歴史館集合 - 長谷寺(西黒川) - 普光寺(普光寺) - 苔翁寺(芋川)をバスで廻ります。
- ▶ 申込み 7月15日までに歴史ふれあい館まで  
(Tel.253-6646)。
- ▶ 定員 27名(申込み多数の場合は抽選)
- ▶ 参加費 700円

### 天体観測室の公開日<星空観望会>

8日は明るい月が、22日は星空が主役です。リングのある土星がよく見えるようになってきました。どうぞお出かけください。

- ▶ 日時 7月8日(土)・22日(土) 19:30～21:00
- ▶ 入場料 無料

\*悪天候のときは中止。実施の可否は18:00に決定します。電話でお問い合わせください。

### 『古町の歴史と文化の記録』頒布のお知らせ

平成28年度飯綱町まちづくり活動支援事業補助を受けて発行された古町区の記録集について、歴史ふれあい館窓口での販売を開始しました。

- ▶ 書名 『古町の歴史と文化の記録』古町の歴史と文化を記録する会発行 A4判296頁
- ▶ 価格 2000円
- ▶ 郵送希望の方は代金と送料(一部350円)を前払いしてください。
- ▶ 問合せ 歴史ふれあい館 Tel.253-6646

### 子育て広場をご利用ください。

なかよし広場、おひさま広場(園開放)は、施設開放による交流事業です。

対象者は、なかよし広場が0歳から就学前の乳幼児のいる家庭や、これから子育てをする家庭の方。おひさま広場(園開放)は、生後6か月以上で就学前の乳幼児のいる家庭が対象となります。

申し込みなどは必要ありません。お気軽にお越しください。

▶問合せ 子育て支援センター TEL253-8853

### 「はぐくみカフェ/カ(りょく)」開催について

お茶を飲みながら、日頃の子育てをされていて感じること、悩みなど、自由にお話してみませんか。子育てに役立つワンポイントアドバイスが受けられるミニ講座もあります。NPO法人SUNの専門スタッフ(発達相談員)が対応いたします。

(お申し込み・参加費不要)

▶日時 7月13日(木) 午前9時30分～11時

▶場所 町民会館 元気の館

### 「クッキング」開催について

お子さんやお孫さんと一緒に簡単なおやつを作ったり、食生活改善推進協議会の方によるシアターを楽しみませんか。

(お申込み・参加費不要)

▶日時 7月14日(金) 午前9時45分～11時30分

▶場所 町民会館 教養娯楽室・集会室

▶講師 保育園の管理栄養士

▶メニュー 「夏野菜ピザ」

### 「わらべ歌で遊ぼう」開催について

お子さんやお孫さんと楽しくスキンシップをしながら、子育てに役立つあやし遊びやふれあい遊びを一緒に楽しみませんか。

(お申し込み・参加費不要)

▶日時 7月21日(金) 午前10時～11時

▶場所 町民会館 教養娯楽室

▶講師 原山 克江先生

### 「7月生まれのお誕生会」開催について

なかよし広場では、毎月お誕生会を計画しています。お誕生日のお子さんをみんなでお祝いしましょう。

7月生まれのお子さんはカードを作りますので、10時頃までにお越しください。

(お申込み・参加費不要)

▶日時 7月28日(金) 午前10時30分～10時45分

▶場所 町民会館 教養娯楽室

### 信州大学

### 「平成29年度地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」 第4期受講生募集

- ▶講座題目 「信州の未来学～  
地域をつなぐローカル・イノベーター」
- ▶講座期間 平成29年9月～平成30年2月
- ▶募集定員 最大30名
- ▶受講料 20,000円(全18回、教材費・施設使用料等を含む、その他交通費・宿泊等の実費は参加者負担)
- ▶申込締切 8月18日(金)
- ▶ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/areas/>
- ▶問合せ 信州大学地域総合戦略推進本部  
TEL0263-37-2075

### 子育て支援センターからのお知らせ

#### なかよし広場

#### ▶今月の予定

月・水・木・金曜日	9:30～11:30	町民会館 教養娯楽室
13日、27日のみ	9:30～11:30	町民会館 元気の館

#### ▶今月の行事等

3日(月)	9:30～11:00	リサイクルデー
//	14:00～16:00	なかよし広場午後もあります
7日(金)	10:00～11:00	健康相談/プレママ/マタニティーサロン
//	14:00～16:00	なかよし広場午後もあります
10日(月)	10:00～11:00	英語で遊ぼう
12日(水)	10:45～11:00	絵本の読み聞かせ会
13日(木)	9:30～11:00	はぐくみカフェ/カ(りょく)
14日(金)	9:45～11:30	クッキング「夏野菜ピザ」
//	14:00～16:00	なかよし広場午後もあります
19日(水)	10:00～11:00	育児教室「にこにこ」(生後4ヶ月児まで)
20日(木)	10:00～11:00	育児教室「にこにこ」(5ヶ月から8ヶ月児)
21日(金)	10:00～11:00	わらべ歌で遊ぼう
24日(月)	9:30～11:00	主任児童委員による育児相談
26日(水)	10:45～11:00	絵本の読み聞かせ会
//	10:00～11:00	育児教室「にこにこ」(9ヶ月児～11ヶ月児)
27日(木)	9:30～10:30	作って遊ぼう
//	14:00～16:00	なかよし広場午後もあります
28日(金)	10:30～10:45	7月生まれのお誕生会
//	14:00～16:00	なかよし広場午後もあります
31日(月)		休館日
8月2日(水)	10:45～11:00	絵本の読み聞かせ会

▶持ち物 おやつを食べていかれる方は、お子さんのおやつ、飲みもの、おやつの際に敷くピクニックシート等

## 中学校図書館からのお知らせ

### 7月・8月の開館状況

○=午後4時30分から午後8時まで

◎=午前9時から午後7時まで

×=閉館

<7月>			<8月>		
日	曜日	開閉	日	曜日	開閉
1	土	◎	1	火	◎
2	日	◎	2	水	◎
3	月	×	3	木	◎
4	火	○	4	金	◎
5	水	○	5	土	◎
6	木	○	6	日	◎
7	金	○	7	月	×
8	土	◎	8	火	◎
9	日	◎	9	水	◎
10	月	×	10	木	◎
11	火	○	11	金	◎
12	水	○	12	土	◎
13	木	○	13	日	◎
14	金	○	14	月	×
15	土	◎	15	火	◎
16	日	◎	16	水	◎
17	月	◎	17	木	◎
18	火	×	18	金	◎
19	水	○	19	土	◎
20	木	○	20	日	◎
21	金	○	21	月	×
22	土	◎	22	火	◎
23	日	◎	23	水	○
24	月	×	24	木	○
25	火	○	25	金	○
26	水	○	26	土	◎
27	木	◎	27	日	◎
28	金	◎	28	月	×
29	土	◎	29	火	○
30	日	◎	30	水	○
31	月	×	31	木	○

※開館時間等が変更になる場合は、無線放送等でお知らせします。

▶問合せ 教育委員会 生涯学習係  
Tel.253-6560

## 今月の園開放(おひさま広場)

11日(火)	さみずっ子保育園	9:30~11:30	Tel.253-8800
19日(水)	南部保育園	9:30~11:30	Tel.253-7153
27日(木)	りんごっ子保育園	9:30~11:30	Tel.253-1201

▶持ち物 おやつを食べていかれる方は、お子さんのおやつ、飲み物、おやつのに敷くピクニックシート等

▶問合せ 各園または子育て支援センター

<問合せ>

飯綱町子育て支援センター

〒389-1211 飯綱町大字牟礼1989(町民会館 元気の館内)

TEL/FAX 253-8853(留守番電話もご利用ください。)

E-mail / kosodatesien@town.iizuna.nagano.jp

## 飯綱町地域活動支援センターからのお知らせ

飯綱町地域活動支援センターは、障がいのある人の相談窓口です。また、余暇等を企画し地域での暮らしが充実したものになるよう応援している所です。

### 【カフェ】

みんなの交流の場。お茶を飲みながら会話を楽しまします。

毎週 月、木曜日 午後4時00分~5時00分

開催場所：飯綱町地域活動支援センター

### 【いこいの家】

精神障がい者の社会復帰に向けての支援や余暇活動の支援（おやつ作りやカラオケなど）をしています。

毎週火曜日 午後1時30分~3時30分 場所：西黒川1660-5 おひさま

### 【SO（スポーツおもしろ）プログラム】

毎月1回 スポーツの場を提供（バドミントン・卓球・バスケットボール・カローリングなど）(予定) 7月15日(土) 10:00~11:30

場所：三水B&G海洋センター体育館

※余暇企画として「SOのあとランチに行きましょう」を予定しています。

### 【余暇企画】

障がい者の余暇活動を支援(お花見、カラオケ、温泉など)

今月は 7月10日(月) 15:30~17:00 おとなのぬりえ

7月15日(土) 10:00~14:00 SOのあとランチに行きましょう

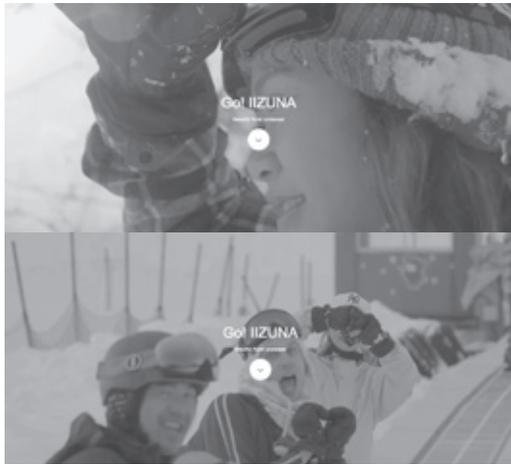
を予定しています。内容などの詳細は下記へご連絡ください。

申込み先：飯綱町地域活動支援センター(Tel.253-7519へ)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 カフェ	4 いこい	5	6 カフェ	7	8
9	10 余暇 おとなのぬりえ	11 いこい	12	13 カフェ	14	15 SOと 余暇ランチ
16	17 カフェ	18 いこい	19	20 カフェ	21	22
23	24 カフェ	25 いこい	26	27	28	29
30	31 カフェ					

▶問合せ 飯綱町地域活動支援センター Tel.253-7519

## 地域おこし協力隊活動報告 ～高岡隊員編～



英語版HP : <http://go-iizuna.com/>



中国語版HP : <http://qu-iizuna.com/>

飯綱町に移住して1年が経ちました。寒冷地で初めて過ごした冬は何もかもが初めての連続で、1週間くらいは雪を楽しんでいたのですが、それ以降は雪が降るたびにゲンナリしていた高岡です。

ところで、6月9日付け長野日報の記事によると、農家民泊が海外からのインバウンド（訪日旅行）などで人気を集めているそうです。伊那市観光協会では昨年度、78団体で約1900人を受け入れているそうで、農作業＝観光コンテンツとしての可能性を感じます。

このような背景もあり、私の方では現在、海外での飯綱町の認知度向上・需要取り込みの一施策として、外国語版HPの制作を進めています。英語版は既に完成しており、トップページには今年2月に企画・実施した飯綱町インバウンドモニターツアーの映像を使用するなど、体験や感動をダイレクトに伝えられるデザインにしています。中国語版も6月下旬には公開予定で、中華圏からの需要拡大にも対応。今後は体験メニューの開発からブラッシュアップ、ビジネス化を行い、魅力的な商品を市場に送り出せるよう努めていきたいと思っています。（高岡）

## 一般社団法人700MHz利用推進協会より テレビに関するお知らせ

2017年7月20日(木)以降、携帯電話の新しい電波の利用でテレビ映像が乱れる可能性があります。

テレビ映像に影響が出た際は、コールセンターへご連絡ください。新しい電波の影響の場合は、当協会費用負担で回復作業を行います。

【700MHz(メガヘルツ)テレビ受信障害対策コールセンター】

**☎ 0120-700-012**

受付時間 9:00～22:00(土日祝日及び年末年始を含む)

※IP電話等で上記の電話番号につながらない場合は、Tel050-3786-0700におかけください。

## 飯網中学校 ～1学期前半の活動の様子から～

平成29年度も2ヶ月あまりが過ぎました。飯網中学校では、今年度「学力向上・人間関係づくり・社会体験」の3つを重点に置いて取り組んでいます。また、授業をはじめ、さまざまな活動に取り組む中で、生徒たちが表現したり説明したりする力をさらに伸ばすことをめざしていきます。

今回は、5月、6月に行われた活動の一部を紹介します。

### 【生徒総会】

5月12日に第1回生徒総会が行われました。今年度生徒会スローガン「飯中'S BEST」が発表され、活動計画案、予算案が審議され、承認されました。日々の当番活動はもちろん、縦割り清掃や牛乳パックなどの収集活動も始まっています。生徒一人ひとりが取り組む意識を高めながら、1年間充実した生徒会活動をしていきます。



### 【手作りお弁当の日】

今年度で4年目を迎えた「手作りお弁当の日」が、5月15日に2、3年生で行われました。

家庭科の時間に主食、主菜、副菜の計画を立て、当日の朝自分で作ったお弁当を持参し、クラスの間で作ったお弁当を紹介した後、みんなで楽しく会食しました。自分でお弁当を作ることとおして、食に対する関心や意欲を高め、いつも食事を作ってくださる方や、食材への感謝の心を育むよい機会となったと思います。

1年生は、来年の2月5日に行います。



### 【北信陸上・長水体育大会】

6月3日の北信陸上・長水体育大会(卓球)を皮切りに、中体連の大会が始まりました。今年度から長野市と上水内郡が一緒になったの大会となり、参加チームが大幅に増えました。

3年生にとっては、最後の大会になります。一球、一打、一走、一瞬にこれまで積み上げてきた力を精一杯出しきり、「飯中'S BEST」で最後の最後まで諦めずに大会に臨んでいます。長水大会を勝ち上がった部は、6月中旬～下旬にかけて行われる北信大会に出場し、さらに勝ち上がった部と北信陸上での入賞者は、7月に行われる県大会へと続いていきます。

大会をとおして、生徒たちは人間的にも大きな成長をとげます。全力で臨んだ生徒たちに、ぜひ温かな声援をお願いいたします。



今回は、1学期前半の活動の一部を紹介しました。7月には、1、2年生は、妙高、志賀への宿泊体験学習、3年生は、地域に発信するテーマに沿った学習を行う予定です。

今年度も、地域の皆様のご支援をいただきながら、250名の生徒一人ひとりが、自分の力を存分に高めていけるよう教職員みんなで取り組んでいきたいと思っております。

